

国姓爺合戦 (2001)

英雄・鄭成功傳

メディア 映画

ジャンル 歴史劇

製作国 中国／日本

色彩 Color

時間 105分

初公開日 2002/11/02

公開情報 日活

【キャッチコピー】

明から清へ――。

アジアを救った日本の英雄がいた。

【解説】

17世紀の中国で偉大な功績を残した鄭成功。皇帝の姓を名乗るべき偉人の意味の“国姓爺”と呼ばれ、日本人の女性を母に持つ英雄の物語を、日中合作で壮大に描く。日本では近松門左衛門が同名作を戯曲化。その後幾度も上演され、近世日本文学の代表の1つとなった。監督はベルリン映画祭受賞「晩鐘」のウー・ツーニウ。

1644年、清の強勢に圧倒され北京が陥落、明朝は滅びた。それでも強硬に抵抗を続ける明の遺臣の一人・鄭芝龍は、かつて立ち寄った長崎で日本人女性・田川マツと出会い、1624年に男の子をもうけていた。その子は福松と名付けられ、8歳時に父と大陸に渡り鄭森と名を変える。やがて勇猛な戦士に成長した鄭森は、北京陥落の翌年、南京で清軍に対抗していた。復明のために台湾を拠点にすることも提案。後に隆武帝から皇帝と同じ姓「朱」を与えられ“国姓爺鄭成功”を名乗ることを許される。その矢先、父、鄭芝龍が清朝に帰順するとの報せが届くのだった。

【クレジット】

監督 ウー・ツーニウ Wu Ziniu

製作 リー・ニン Li Ning

企画 染野行雄

製作総指揮 中村雅哉

脚本 チャン・イーピン

撮影 イー・フホウラー

美術 リン・チー

衣裳 ワン・チュウピン

音楽 チャン・シャオトン

テーマ音楽 ウー・ルーチン

出演 チウ・マンチェク

鄭 成功

シィ・ミン

隆武帝（皇帝）

ズウ・アン

薫氏（鄭の妻）

トウ・チークオ

鄭芝龍（鄭成功の父）

ジアン・チンチン

Jiang Qinjin

施良（鄭家の養子）

島田楊子

田川マツ（鄭成功の母）